Ⅳ. 平成14年度　班会議議事録

平成14年度厚生労働科学研究費補助金・医療技術評価総合研究事業

「ストレス関連疾患に関する医療経済学的評価基準の作成」

第1回　班会議　プログラム

日　時　　平成15年2月13日(木)　14:00～17:00

場　所　　KKRホテル東京　11階　竹の間
千代田区大手町1－4－1　TEL:03-3287-2921

(発表は一人10分，質疑応答5分でお願いします.)

司会進行　　石川俊男

14：00　～　14：10　　主任研究者挨拶
1)　石川　俊男　　国立精神・神経ｾﾝﾀｰ国府台病院　心療内科

14：10　～　14：25　　過敏性腸症候群
2)　釈　文雄　　国立療養所岩手病院研究検査科

14：25　～　14：40　　アトピー性皮膚炎
3)　安藤　哲也　　国立精神・神経ｾﾝﾀｰ精神保健研究所心身医学研究部
　　羽白　誠　　国立大阪病院皮膚科

14：40　～　14：55　　気管支喘息
4)　横田　欣児　　国立療養所南福岡病院　心療内科

14：55　～　15：10　　摂食障害
5)　瀧井　正人　　九州大学医学部　心療内科

15：10　～　15：25　　摂食障害
6)　伊藤　順一郎　　国立精神･神経ｾﾝﾀｰ精神保健研究所社会復帰相談部

15：25　～　15：40　　ブレイク

15：40　～　15：55　　軽症うつ病
7)　早川　達郎　　国立精神・神経ｾﾝﾀｰ国府台病院　第1・第2精神科

15：55　～　16：10　　外来軽症精神障害を対象とした医療の実態と満足度の評価
8)　原井　宏明　　国立療養所菊池病院精神科

16：10　～　16：25　　心身症に対する集団心理的作業療法
9)　荒木　登茂子　　九州大学大学院医学研究院

16：25　～　16：40　　統計学的、文献的な問題点と課題について
10)　伏見　清秀　　東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科医療情報システム学
　　土井　徹　　国立保健医療科学院研究情報センター

16：40　～　17：00　　主任研究者より今後のスケジュールについて
質疑応答

厚生労働科学研究費補助金・医療技術評価総合研究事業
「ストレス関連疾患に関する医療経済学的評価基準の作成」
平成１４年度　第１回班会議議事録
平成１５年２月１３日　KKR ホテル東京　14:00～17:00

１，　主任研究者（石川）より挨拶
今年度は調査票の作成を行い調査をスタートしている
疾患によりバラつきはあるが中間発表としてこの班会議を行っていきたい。

２，　過敏性腸症候群（釈）
配布資料により現在の進行状況、傾向などを説明した。
症例数が十分ではないが、傾向として、心理を受けている場合、中等症例が多い。心理的アプローチを受けていない場合、複数回の検査（大腸内視鏡、注腸）が行われ、コストがかかっているなど。
この調査を行う上で例数としてはどれくらい集められればよいかとの質問あり、研究協力者（土井）より、最低１５～２０例は必要、せいぜい１２～１３例はないといけないとの回答。
また、精神疾患の有無の判断基準、バイアスをどうするかが問題にならないかとのコメントあり。

３，　アトピー性皮膚炎（安藤、羽白）
配付資料により、進行状況、問題点・課題等を説明した。
医療費に関しての質問に対し、無回答・回答に時間がかかる点がみられたことに対し、コホートではレセプトを集めることにより調査を行うが、レセプトをみることに対し、その旨同意書へ記載を行わなければならないのではないか。また、同意書を修正していくのであれば、「調査に協力してもしなくても今後の治療に変わりはありません」と入れておいた方がよいこと、氏名を明らかにしない点に関して、同意書は調査票とは分けた方がよいのではないか、「調査員が聞く」という事に抵抗を示す場合があるなど。

４，　気管支喘息（横田）
配付資料により、現在までの調査において心身医学的治療群と非心身医学的治療群との比較、問題点・課題について説明した。
今後について
心理療法群では重症例と軽症例とに群が２分化しており、群を分けて検討してみてはどうか。

心理治療の有無をどのような基準で振り分けていくか。
ステロイドが攪乱因子となっていないか。ステロイドの量により、治るかどうか影響がないか。ステロイドの量については正確にする必要性がある。医師側の質問紙に入れる必要がある。
ステロイド使用は心理療法群の方が多いが、何故か。
等の意見があり、
心理あり群は難治性が多く、また、こまめに見て治療をしているためステロイドの使用が多くなる点などのコメントがあった。
また、一つの施設で行っているので、同じレベルの人に対して心理療法をした群としない群で調査してみてはどうか。同じ主治医でありなし群を比較するより、主治医別で例えば呼吸器科の医師に依頼し、行ってみてはどうかとの意見もみられた。

5，　摂食障害（伊藤）
配付資料を説明し、国府台病院精神科と岩手医大精神科において、家族療法パッケージの前後でどのような変化が現れるかについて調査票を使用し４６例を目標に進めていきたい。

6，　摂食障害（瀧井）
配付資料により説明し、それに沿って今後調査を進めていきたい。ただ、金銭面の評価は困難であるため、治療者の努力の「経済」ととらえたい。認知行動療法的対応を行っているが、今後は心理教育的対応を行い、結果を出していきたい。
問題点としてはコントロールをどうするか。（石川より）コントロールはドロップアウトし治療を受けていない群にしてみてはどうかとのコメントがあった。

7，　軽症うつ病（早川）
配付資料により説明し、今後大学病院からクリニックまで他施設で調査を行っていく予定。精神療法を行っている場合、どのようなことが行われているか具体的に調査をしてみてはどうか。精神療法は医師の個人的解釈によるものが多いのでそのあたりが問題になること多い。
面接時間で差を見てみればどうか。ただ、施設間により人員的なものを含めた体制の違いがあるため、それらの要因を入れる必要があるとの意見がみられた。

8，　外来軽症精神障害を対象とした医療の実態と満足度の評価（原井）
配付資料により精神・神経疾患の今後の医療費増加から医療経済学的研究の必要性・研究の提案等について説明あり、調査対象疾患についての意見が求められた。
（石川より）社会恐怖でとの提案あり、今後、社会恐怖を対象とし、調査をすすめていくこととなる。

９，　心身症に対する集団心理作業療法（荒木）

心理的集団作業療法について、概要・内容・個々の症例等について説明があり、ボディトークの有用性、集団心理作業療法の問題点、個人療法との連関、経済効果についても触れられた。

また、南福岡病院のプール教室に参加している小児喘息患者に対して自律訓練に関する研究を行っているところであり、介入した群と介入しなかった群で喘息の状態、SF-36 の状況を調べたいと思っている点について話しがあった。

１０，　統計学的、文献的な問題点と課題について（伏見、土井）

配付資料により、IBS 中間集計状況が伏見より症例数が十分でないものの、

「精神心理療法群では非実施群に比較して症状の改善度が大きい」点、指摘がされた。今後の方針として、入力インターフェイスの作成、入力作業の実施、予備的統計分析、各疾患毎の中間分析結果の報告と調査状況の確認、最終的統計分析結果の作成についての説明がなされた。

統計的な解析にかかる時間もあり、調査票は集まり次第出来るだけ早く出していただき、最終的な締めは平成１５年１２月末としたい。**全体調査の調査票はなるべく早く事務局に提出していただきたい。**

研究対象疾患の治療に関する文献データベースの作成について土井より

精神心理療法の有用性を測定する基準の確立

有効な精神心理療法の経済的側面を測定する基準の確立

について、最終的に文献のアブストラクションフォームを作成していくことについて説明がなされた。

Ⅴ．研究班員名簿
（平成 14 年度）

分担研究者一覧表

課題番号　Ｈ１３－医療－００３
研究課題名　　ストレス関連疾患に関する医療経済学的評価基準の作成

※個人情報のため、TEL　FAX　e-mail は掲載を控えます

区分	氏名	所属施設・職名	所属施設所在地	TEL／FAX	E-mail
主任	石川俊男	国立精神・神経ｾﾝﾀｰ国府台病院 心療内科･部長	〒272-8516 千葉県市川市国府台１－７－１	TEL： FAX：	
分担	荒木登茂子	九州大学大学院医学研究院 医療経営・管理学講座・教授	〒812-8582 福岡市東区馬出３丁目１の１	TEL： FAX：	
分担	伊藤順一郎	国立精神・神経ｾﾝﾀｰ精神保健研究所 社会復帰相談部部長	〒272-0827 千葉県市川市国府台１－７－３	TEL： FAX：	
分担	大井田隆	日本大学医学部社会医学講座 公衆衛生学部門・教授	〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町 30-1	TEL： FAX：	
	（土井徹）	国立保健医療科学院研究情報センター長		TEL：	
分担	久保千春	九州大学大学院医学研究院 心身医学・教授	〒812-8582 福岡市東区馬出３丁目１の１	TEL： FAX：	
	（野崎剛弘）				
分担	小牧元	国立精神・神経ｾﾝﾀｰ精神保健研究所 心身医学研究部部長	〒272-0827 千葉県市川市国府台１－７－３	TEL： FAX：	
分担	釈文雄	国立療養所岩手病院研究検査科 心身医学・科長	〒021-0056 岩手県一関市山目字泥田下４８	TEL： FAX：	
分担	西間三馨	国立療養所南福岡病院 院長	〒811-1394 福岡市南区尾形原４－３９－１	TEL： FAX：	
	（横田欣児）	（心療内科　医長）		（横田）	
分担	原井宏明	国立療養所菊池病院精神科 医長	〒861-1116 熊本県菊池郡合志町大字福原 208	TEL： FAX：	
分担	樋口輝彦	国立精神・神経ｾﾝﾀｰ国府台病院 院長	〒272-8516 千葉県市川市国府台１－７－１	TEL： FAX：	
分担	伏見清秀	東京医科歯科大学大学院　医歯学総合研究科・医療情報ｼｽﾃﾑ学助教授	〒113-8510 東京都文京区湯島１－５－４５	TEL： FAX：	
分担	羽白誠	国立大阪病院皮膚科	〒540-0006 大阪市中央区法円坂 2-1-14	TEL： FAX：	